

# 「創生プラン」進捗状況確認表

	項目	議会質問							進捗評価	予算化について			
		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29					
プラン1	(1) 1 kmスクエアを基準に、5つのゾーンの特徴を活かしたまちの活性化を図ります。	1)各ゾーンに開発の方向性を持たせませす。	JR岡山駅周辺ゾーン	歩いて楽しい県庁通り、桃太郎大通りを演出します。	○		○	○		○	◎	平日、休日の社会実験の実施。	
				わかりやすい案内板を設置します。			○				◎	順次、設置している。歴史のまちしるべ事業。	
				使いやすい公共交通を整備します。			○	○	○	○	○	○	路面電車の駅前乗り入れに調査費用が付いた。
			カルチャーゾーン	図書館、美術館などを活用したイベントを定期的に開催します。	○		○	○		○	○	◎	岡山芸術交流Okayama Art Summit2016の開催。
				表町商店街への回遊性を高める駐車場を整備します。	○		○	○				△	民間力による城下周辺や千日前地域の駐車場の整備。
			市役所周辺ゾーン	岡山大学病院と市役所周辺の公共交通を整備します。			○				○	○	未整備
		保健・福祉の情報とサービスの拠点を拡充します。				○				○		×	未整備
		マスコミ各社の情報発信エリアとして整備します。				○				○		×	未整備
		京橋・千日前周辺ゾーン	京橋朝市のにぎわい活動を盛り上げ、楽しく集える場所を充実します。	○		○	○			○	○	○	新市民会館の千日前建設が決定。
			シルバー世代向けの居住施設を整備します。			○				○		○	順次、民間により建設中。
		スポーツゾーン	学生の参画によるまちづくりを推進します。			○				○		◎	H29年度より「大学生まちづくりチャレンジ事業」を新規事業化。
			大学と連携し市民に学びと交流の場を提供します。			○				○		◎	H29年度より「大学生まちづくりチャレンジ事業」を新規事業化。
	(2) 視覚や感性に訴え、市民が参加しやすい魅力的なまちづくりを推進します。	2)各ゾーンをつなぐ回遊性を確保します。	○		○	○			○	○	◎	路面電車の駅前乗り入れに調査費用が付いた。	
		1)各ゾーンに駐車場を確保し、公共交通の利用促進を図り、回遊性の向上のため、徒歩や自転車で移動できるまちづくりを推進します。		○	○	○			○		◎	自転車道の整備。超小型モビリティの導入。	
2)まちなかの貴重な自然財産である西川緑道公園周辺を、人が集い笑顔あふれる岡山の顔として演出します。		○		○	○			○		◎	平日、休日の社会実験の実施。		
3)岡山を代表する食の開発と楽しく食事ができる場の創造に取り組みます。				○						○	桃太郎さんの地産地消どんぶり王選手権の開催		
4)まちなかで音楽・イベントなど市民が参加し表現できるエリアの開発と、自由に憩うことができる空間をつくります。				○				○		◎	平日、休日の社会実験の実施。		
(3) 利用者目線を活かし、利便性の向上を図ります。	1)国・県・市の行政間相互の連携を深め、民間各種団体との意見交換を重ねることにより、利用者目線に立った課題・情報の共有が進むよう取り組みます。			○				○		○	さくら道の整備、社会実験、路面電車の駅前乗り入れ等の予算化。		
	2)案内板の設置や観光パンフレットの作成、駅前の公共交通機関の利便性向上など利用者目線を活かした改善に取り組みます。	○		○	○				○	◎	路面電車の駅前乗り入れ調査費用、岡山芸術交流の開催、歴史のまちしるべ事業など。		
プラン2	(1)誰もが輝くまちづくりを進め、人が集う岡山を創ります。	1)女性の就労支援に向けて、情報収集ができる場所と相談窓口を設置し、「女性の就労サポートプラン」を策定します。	○		○	○	○	○	○	○	○	女性の再就職支援、創業セミナー開催 マザーズハローワーク出張相談。	
		2)岡山の保育・教育の施設、人、情報を優しく細やかに案内する「岡山っ子コンシェルジュ(専門の相談員)」の配置を進めます。				○	○	○	○	○	○	保育利用者支援員を配置。	
		3)健やかな成長・発達を支える「子ども医療費」無料化の拡充と食育を推進します。									○	通院を28年4月より小学6年まで拡大(1割負担に軽減)。	
	(2)岡山で生まれ育つ子どもたちの保育と教育の質・量ともに拡充するために、施設と施策の改編・整備を促進します。	1)市立園の統廃合、幼保連携型認定こども園化、民営化などによる、保育施設の拡充と、小規模保育制度の導入等により、保留児童(実質は待機児童)の解消を図ります。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	育休退園基準の見直し。待機児童の基準見直し。こども園の開園。民営化の発表。小規模保育の推進。認可外保育園を認可園に推進。	
		2)保育園や幼稚園の幼保連携型認定こども園化を促進し、3歳児教育を拡充させることにより、保育と教育の質の向上を図ります。			○	○	○	○	○	○	○		
		3)保育量の確保と質の高い保育に向けて、保育士の確保と処遇の改善を進めます。	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	H29年度より単市で2%の処遇改善を新規事業化。	
		4)保育施設への多様な事業主体と事業評価を導入します。	○	○	○						×		
	(3)子どもたちの未来を拓く心身の育ちと学びを豊かにするために、多様な教育環境を整えます。	1)心身ともに健全な子どもの育成のために、保育園・幼稚園園庭の芝生化を進めます。			○	○			○	○	○	H30年度モデル実施に向け調査開始。	
		2)子ども一人ひとりの可能性を拓くために、学びと教える環境を整えます。		○					○	○	◎	岡山市教育大綱の策定を受けて、全国平均の下回る学力の向上に向け、岡山市学力アクセスなどの実施。	
		3)放課後児童クラブの活動場所として、元気に遊べるスペースと静かに勉強できる環境の確保を進めます。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	放課後児童クラブ、余剰教室の利用とプレハブの新築。標準化が進展。支援員の負担緩和。法人化の受け皿づくり	
プラン3	(1)公共施設をすべての市民に便利なインフラとして拡充します。	1)公共施設の複合化・多機能化と「市民協働支援システム」の構築を推進します。		○	○	○		○		○	○	公共施設の建て替え時に複合化推進中。 (操山地区公民館と適応指導教室の合築が決定)	
		2)周辺自治体との連携を深めます。					○	○	○	◎	28年8月、8市5町による連携中枢都市を宣言。		
	(2)課題解決の新たな公共を担う人の育成と仕組みの構築を推進します。	1)市民の皆様の協働の力で地域課題を解決できるよう「岡山市協働のまちづくり条例」を改訂するなど、NPO活動の支援します。			○	○		○	○	◎	28年4月より「改訂岡山市協働のまちづくり条例」が施行。		
		2)地域コミュニティを持続可能にするために、町内会の法人化等を促進します。				○		○	○	○	○	アンケート調査を実施。 議会質問により「運営マニュアル」を作成。	
		3)女性と若者が行政に参画しやすい環境整備に取り組みます。		○			○	○		◎	新総合計画策定時に「若者100人ワークショップ」の開催。 H29年度より「大学生まちづくりチャレンジ事業」開始		
		4)市民の皆様の利便性を高めるため、コンビニエンスストアとの連携を深めます。	○	○						◎	コンビニ収納の拡充。 マイナンバーの導入による各種証明書の発行。		
	(3)多様なサービスシステムとネットワークの力で持続可能な都市づくりを推進します。	1)ICTの利活用による多種多様な既存施設の活性化と多様な主体をつなぐための中心拠点「市民協働センター」の設置に取り組みます。			○	○				◎	市民協働推進センターの体制強化(推進委員会、推進員の配置)。推進計画の策定。		
		2)モバイル・ガバメントを推進します。						○		○	平成28年9月より新たに「ごみ分別アプリ」を導入。 平成28年10月より「岡山市施設予約システム」のサービス提供開始。		
3)地域の特性の応じたまちづくりを推進します。									○	第六次総合計画前期中期計画において各区分計画を策定。			
4)危機管理体制を充実します。		○	○	○	○	○	○		○	各種ハザードマップを改訂。 「被災者台帳システム」導入決定。			